

資料編

関連資料

## 第6次小浜市総合計画基本計画の改定

### (1) 第6次総合計画改定組織図



### (2) 改定までの経緯

令和7年	7月	庁内検討委員会
	8月	庁内検討委員会
	9月	第1回審議会
		庁内検討委員会
	10月	第2回審議会
		庁内検討委員会
11月	市長との対話集会	
12月	庁内検討委員会	
令和8年	1月	パブリックコメント
	2月	庁内検討委員会
		第3回審議会
		審議会答申
		庁議決定
		議会報告

(3) 第6次小浜市総合計画 基本計画 改定 (諮問・答申書)

浜未来第1149号  
令和7年10月14日

小浜市総合計画審議委員会  
会長 江川 誠一 様

小浜市長 杉本 和範 

第6次小浜市総合計画 基本計画の改定について (諮問)

このことについて、小浜市総合計画審議会設置条例(昭和44年小浜市条例第31号)第2条の規定に基づき、下記のとおり諮問いたします。

記

諮問事項 第6次小浜市総合計画 基本計画の改定について

浜 総 計 第 1 号  
令和8年2月4日

小浜市長 杉本 和範 様

小浜市総合計画審議委員会  
会長 江川 誠 

第6次小浜市総合計画 基本計画改定案 答申書

令和7年10月14日付け浜未来第1149号で諮問のあった第6次小浜市総合計画 基本計画の改定について、慎重審議を行った結果、別添のとおり答申する。

## (4) 小浜市総合計画審議会

### ①小浜市総合計画審議会設置条例

昭和 44 年 10 月 9 日 条例第 31 号

(目的)

第 1 条 この条例は、地方自治法(昭和 22 年法律第 67 号)第 138 条の 4 第 3 項の規定に基づき、小浜市総合計画審議会の設置および運営に関し必要な事項を定めることを目的とする。  
(設置および所掌事務)

第 2 条 小浜市の総合計画に関し市長の諮問に応じ、および重要事項について調査または審議を行わせるため、小浜市総合計画審議会(以下「審議会」という。)を置く。

(組織)

第 3 条 審議会は、委員 17 人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、市長が任命する。

- (1) 市議会議員
- (2) 学識経験者
- (3) 関係行政機関の職員
- (4) 関係団体の役職員
- (5) その他市長が必要と認める者

(任期)

第 4 条 委員は、当該諮問にかかる審議が終了したときは、解任されるものとする。

2 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長)

第 5 条 審議会に会長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 会長は、会務を総理し審議会を代表する。

3 会長に事故があるとき、または会長が欠けたときは、あらかじめ会長の指定する委員がその職務を代理する。

(会議)

第 6 条 審議会は、会長が招集する。

2 審議会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 審議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは会長の決するところによる。

(庶務)

第 7 条 審議会の庶務は、経営企画部未来創造課において処理する。

(委任)

第 8 条 この条例に定めるもののほか、審議会に関し必要な事項は、市長が定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

附 則(昭和 47 年 4 月 1 日条例第 4 号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則(昭和 53 年 3 月 25 日条例第 10 号)

この条例は、昭和 53 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 5 年 3 月 25 日条例第 2 号)

この条例は、平成 5 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 9 年 3 月 27 日条例第 1 号)

この条例は、平成 9 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 11 年 12 月 21 日条例第 31 号)

この条例は、平成 12 年 1 月 1 日から施行する。

附 則(平成 14 年 3 月 25 日条例第 4 号)抄

(施行期日)

1 この条例は、平成 14 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 18 年 3 月 30 日条例第 1 号)抄

(施行期日)

1 この条例は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 21 年 3 月 30 日条例第 3 号)

この条例は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 27 年 3 月 31 日条例第 25 号)

この条例は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(令和 3 年 3 月 24 日条例第 15 号)

この条例は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(令和 7 年 3 月 24 日条例第 12 号)

この条例は、令和 7 年 4 月 1 日から施行する。

## ②小浜市総合計画審議会委員名簿

(令和7年度)

役職	所属団体		氏名
	団体名	役職	
会長	福井大学	講師	江川 誠一
副会長	小浜商工会議所	会頭	井田 浩志
委員	小浜市議会	総務民生 常任委員長	下中 雅之
〃	小浜市議会	産業教育 常任委員長	佐野 達也
〃	小浜市教育委員会	教育長職務代理者 委員	上田 俊彦(～令和8年1月) 村上 郁子(令和8年2月～)
〃	福井県農業協同組合	理事	坂下 憲治
〃	(一社)若狭おばま観光協会	専務理事	原田 優輝
〃	小浜医師会	会長	西尾 宏之
〃	小浜市社会福祉協議会	事務局次長	中野 正勝
〃	小浜市区長連合会	会長	伊須田 尚
〃	小浜商店街連盟	会長	木下 弘明
〃	小浜市民生委員児童委員協議会	会長	品川 憲治
〃	小浜市PTA連合会	副会長	安田 夕佳
〃	若狭青年会議所	青少年育成 委員	芝田 麗加
〃	小浜市老人クラブ連合会	会長	芝 美代子
〃	公募委員		高田 莉帆
〃	公募委員		野瀬 早苗

(順不同・敬称略)

## 市民意識調査と対話集会の集計と分析結果

### ・実施した意識調査等

市民のまちづくりに対する意識や意向を把握するために、「市民意識調査（令和6年9月～10月）」と「市長との対話集会（令和6年9月～11月、令和7年11月）」の主な集計・分析結果をとりまとめる。

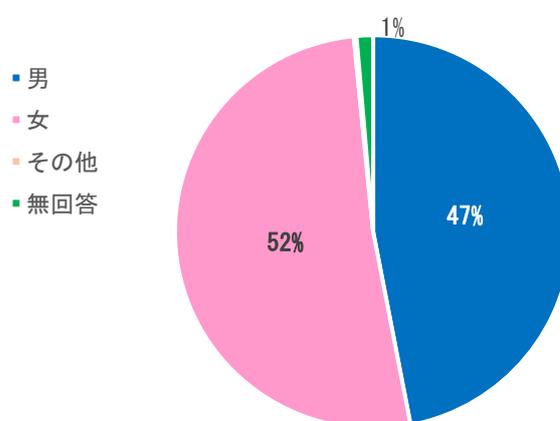
### 市民意識調査

期間 令和6年9月10日～10月15日

対象/回答 市民2,000人(満16歳以上。無作為抽出)のうち892人が回答(回答率44.6%)

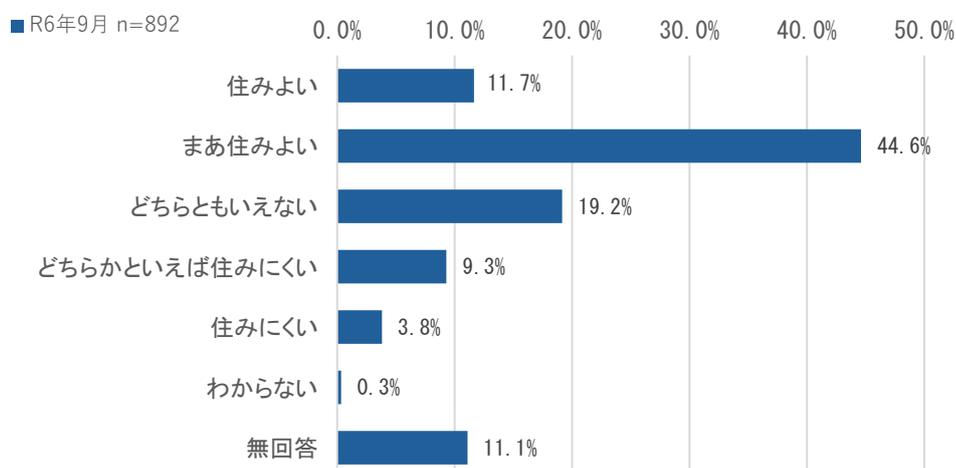
#### 【回答者について】

- ・回答者の男女比は、  
男性47%（419人）  
女性52%（459人）  
となっている。



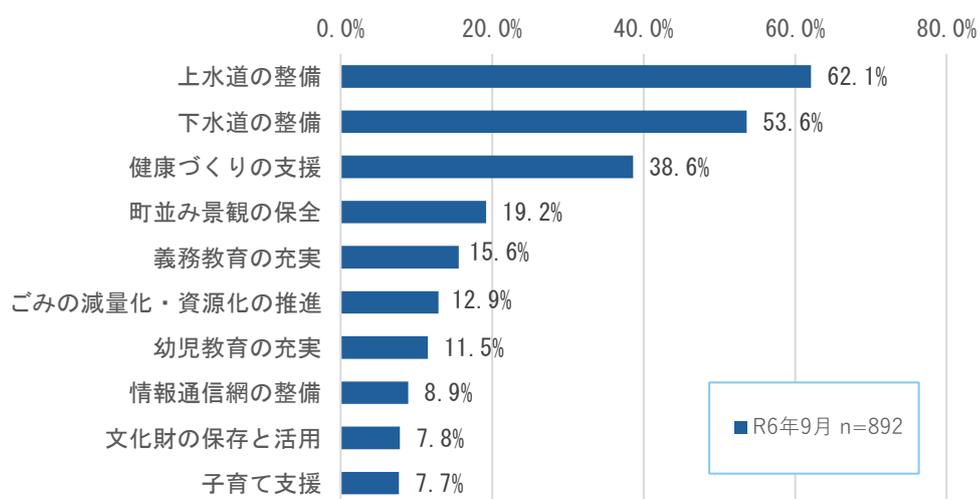
#### 【小浜市の住みやすさについて】

- ・小浜市の住みやすさについては「住みよい」、「まあ住みよい」が56.3%と前回調査の令和元年の54.2%よりも2.1%増加している。一方で、「どちらかといえば住みにくい」、「住みにくい」が13.1%と前回よりも0.5%増加しており、住みやすいと感じている方が増えている一方で、住みにくいと感じている方も若干増えていることが分かる。

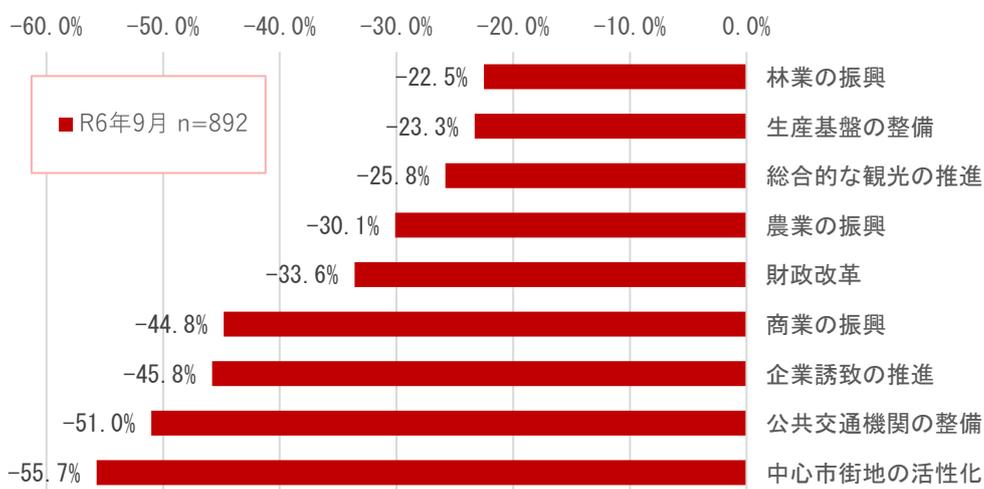


【小浜市の取り組みについての満足度】

- ・ 53 項目（前回令和元年調査は 52 項目）で調査した小浜市の取り組みについての満足度のうち、満足度スコア上位 10 項目は「上水道の整備」、「下水道の整備」が 50%を超え、生活インフラの満足度が高いことが分かる。また、「健康づくりの支援」、「ごみの減量化・資源化の推進」のように生活利便性に係る内容や「義務教育の充実」、「幼児教育の充実」、「子育て支援」の満足度も高く、子育て環境についての評価が高いことが特徴となっている。さらに、「町並み景観の保全」や「情報通信網の整備」、「文化財の保存と活用」と地域の魅力に資する内容の満足度も高い。



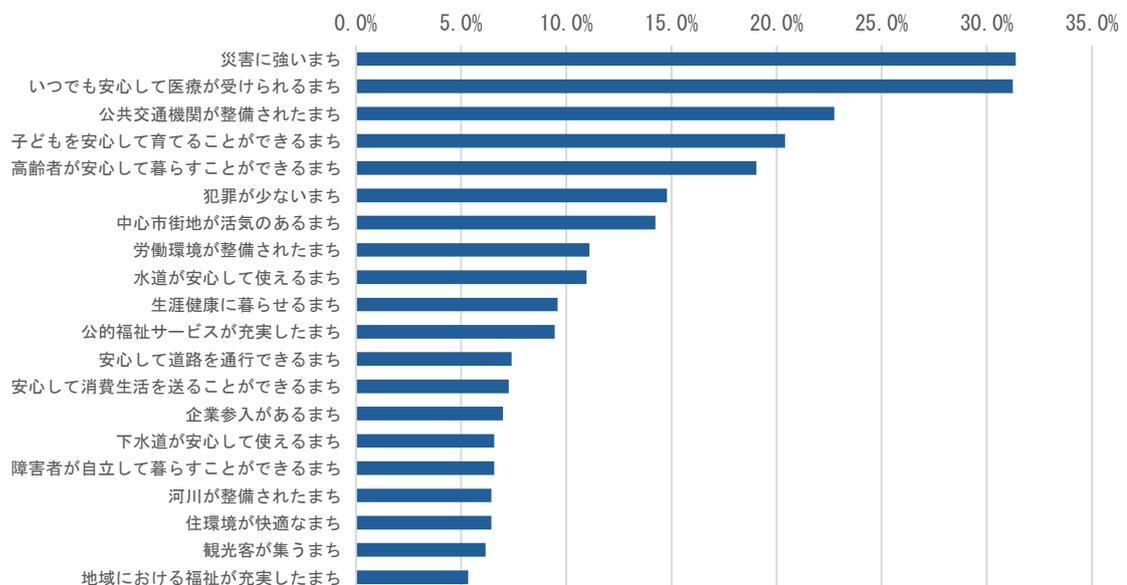
- ・ 上記のような高い満足度を得ている一方で、「林業の振興」、「生産基盤の整備」、「総合的な観光の推進」、「農業の振興」、「商業の振興」、「企業誘致の推進」、「中心市街地の活性化」の満足度が低く、就業機会の創出や産業の発展の面で課題がある。また、「公共交通機関の整備」の満足度も低く、移動利便性を高める施策の必要性も伺える。



- ・また、「道路網の整備」や「医療体制の整備」、「食のまちづくりの推進」については、高い満足率を得ている一方で、一定の不満率もあることから、満足度スコアの順位としては上位10項目には入っていない。現在の取り組みの良い点を維持しつつ、不満となっている点の解消や改善によって市民の満足度を高める効果が期待できる。

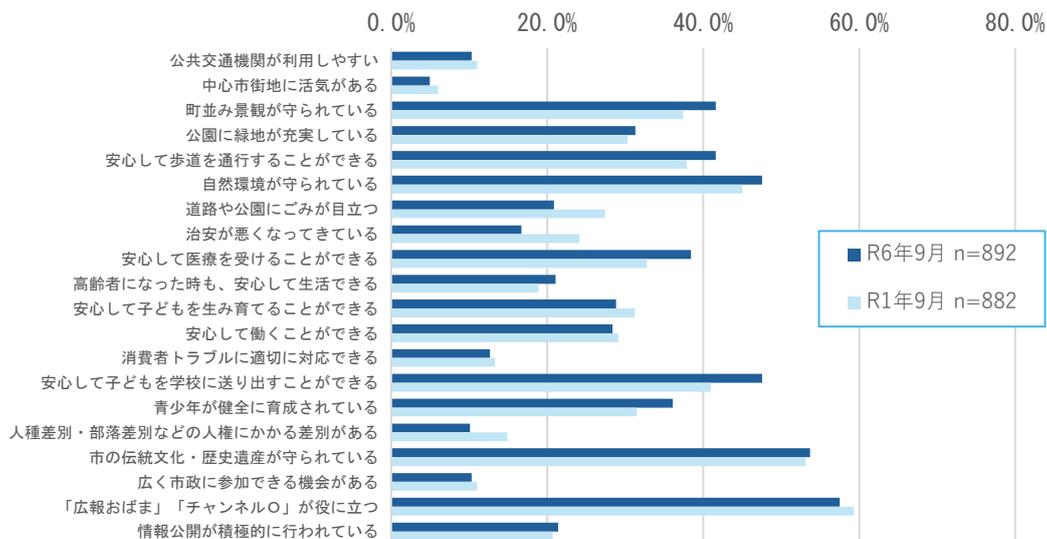
#### 【小浜市のまちづくりについての重要度】

- ・まちづくりについての重要度では、特に安心して暮らせる環境が求められている（「災害に強いまち」、「いつでも安心して医療が受けられるまち」、「子どもを安心して育てることができるまち」、「高齢者が安心して暮らすことができるまち」等）。
- ・上位20項目のうち、前回調査時よりも重要度が増している項目として、「いつでも安心して医療が受けられるまち」、「高齢者が安心して暮らせるまち」、「中心市街地が活気のあるまち」、「労働環境が整備されたまち」等が挙げられる。



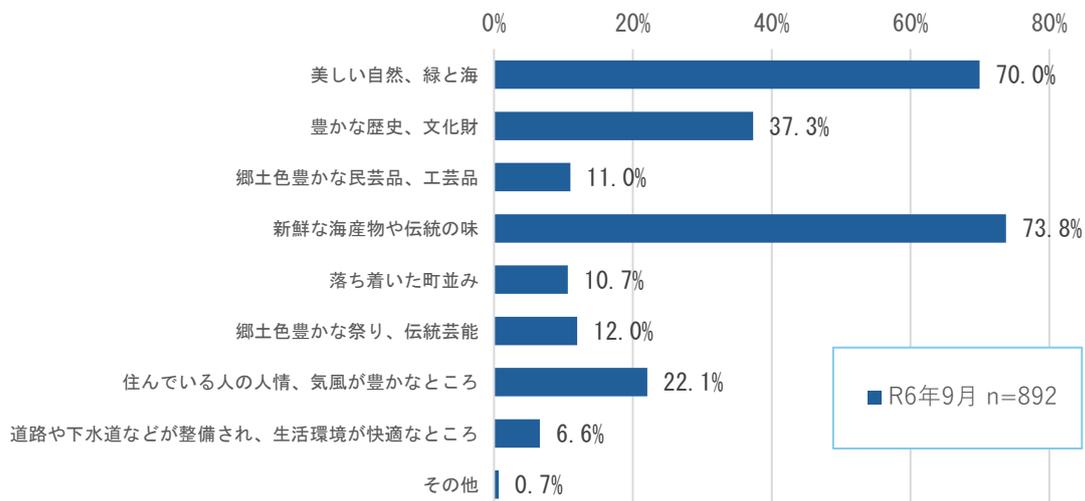
#### 【取組についての肯定的評価】

- ・特に評価が高く40%以上が肯定的評価を示しているのが「広報おばま、チャンネルOが役に立つ」、「市の伝統文化・歴史遺産が守られている」、「安心して子どもを学校に送り出すことができる」、「自然環境が守られている」、「町並み景観が守られている」、「安心して歩道を通行することができる」となっている。これらは行政による取組のみならず、行政と市民、民間事業者等の連携による結果とみられる項目も多く、今後も関係者間の連携や協力が期待される。
- ・20の設問のうち半数の10指標で前回調査時よりも肯定的な評価が増加している。
- ・一方、肯定的な評価が10%程度以下の指標として「公共交通機関が利用しやすい」、「中心市街地に活気がある」、「広く市政に参加できる機会がある」が挙げられ、今後の対応が求められる。



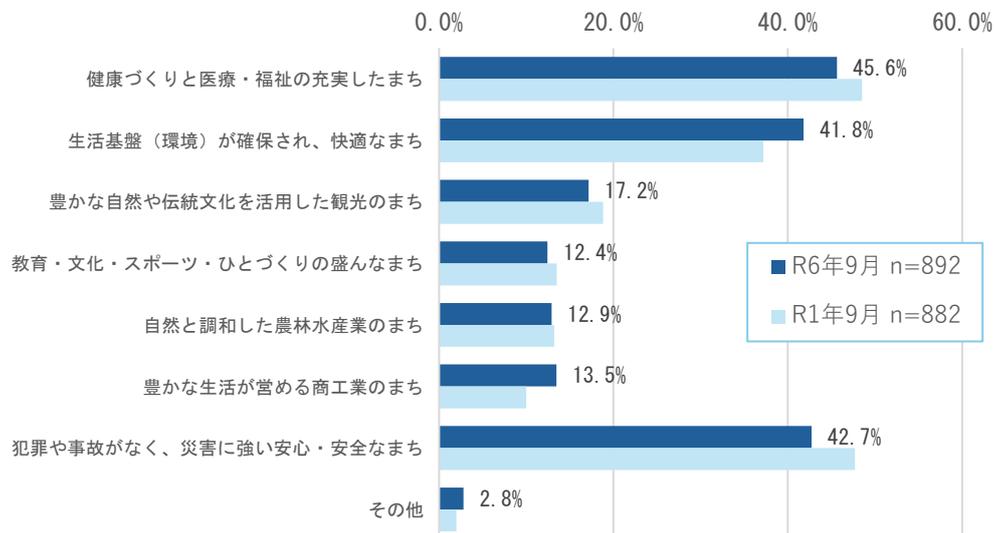
【自慢できる小浜市の特色】

・「美しい自然、緑と海」、「新鮮な海産物や伝統の味」が70%を超え、次いで「豊かな歴史、文化財」(37.3%)、「住んでいる人の表情、気風が豊かなところ」(22.1%)と続いている。



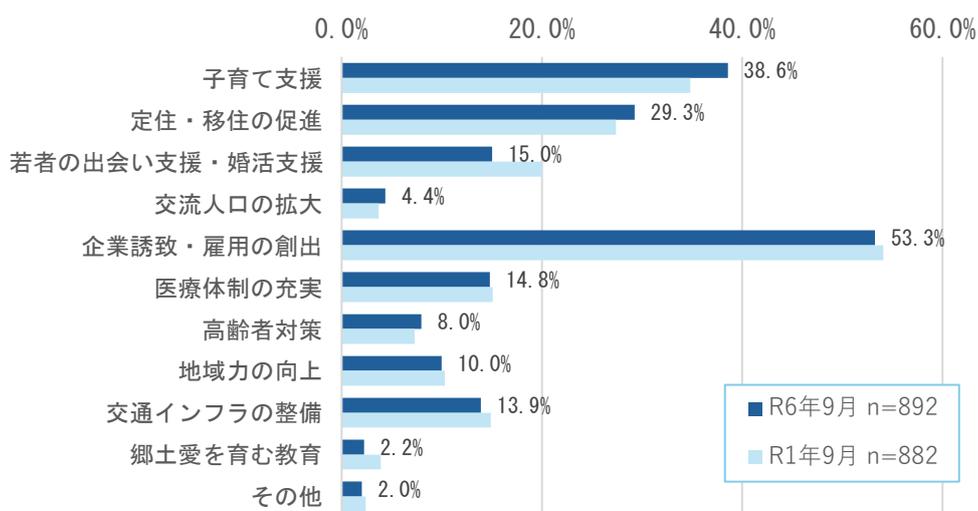
### 【小浜市の望ましい将来の方向性】

- ・最も高いのは「健康づくりと医療・福祉の充実したまち」(45.6%)となっており、次いで「犯罪や事故がなく、災害に強い安心・安全なまち」(42.7%)、「生活基盤(環境)が確保され、快適なまち」(41.8%)となっている。



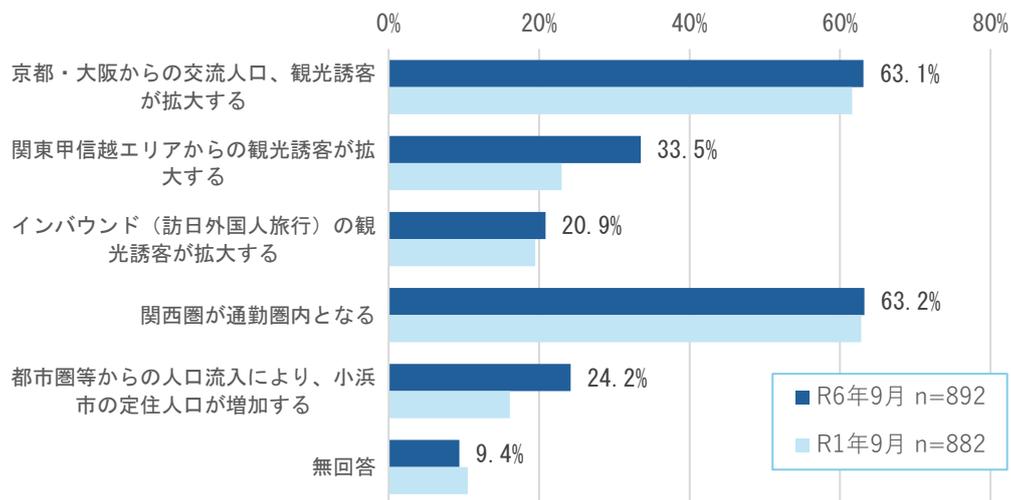
### 【人口減少対策】

- ・人口減少対策として、最も重要だと考えられているのは「企業誘致・雇用の創出」(53.3%)となっている。次いで「子育て支援」(38.6%)、「定住・移住の促進」(29.3%)と続いている。



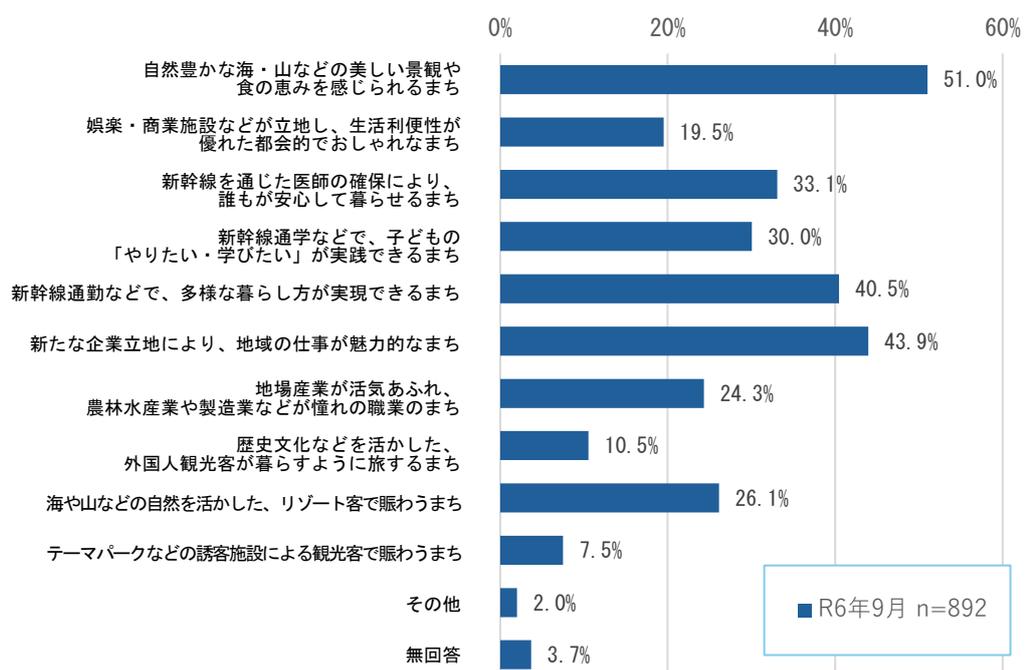
【北陸新幹線全線開業のメリット】

- ・全線開業のメリットとして、「関西圏が通勤圏になる」(63.2%)と「京都・大阪からの交流人口、観光誘客が拡大する」(63.1%)が最も多くなっている。次いで、「関東甲信越エリアからの観光誘客が拡大する」(33.5%)となっている。また、各項目とも前回調査時よりもメリットと感じている回答が多くなっている。



【北陸新幹線全線開業を通じた、まちの将来像】

- ・全線開業を通じて、「自然豊かな海・山などの美しい景観や食の恵みを感じられるまち」(51.0%)が最も多く、「新たな企業立地により、地域の仕事が魅力的なまち」(43.9%)、「新幹線通勤などで、多様な暮らしが実現できるまち」(40.5%)と続いている。今ある魅力を維持しつつ、移動の利便性向上効果を活かしていくことが期待されている。



### 【100年後に残したいもの・こと】

- ・設問の趣旨から「地域の魅力」や「望ましい将来像」に関わる記述が多くなっている。地域の魅力に係る内容としては、自然環境、文化財・伝統行事、産業、交流・活気、人や地元愛・誇り、食、交通・インフラなどが挙げられる。その他、100年後にも「小浜市」が残っていてほしいという「まちの存続」についての記述も複数見られた。
- ・また、上記以外にも結婚・出産や子育て環境・生活環境について、就業機会の創出やU・Iターンの促進に係る内容もある。以下に、411件の回答から特徴的な回答を抜粋する。

#### 1. 地域の魅力について

##### ① 自然環境

- ・風光明媚な小浜独特の自然環境
- ・自然の美しい景観をゆったり見れる環境（特に夕日は◎）／小浜湾に沈む夕日とその残照、日本一だと思います。
- ・おいしい魚が食べられる豊かな漁場。各地に子ども達の声が聞こえる緑多い公園。コウノトリが舞う静かな田園風景。小浜湾のきれいな風景。
- ・美しい自然ときれいな空気／安心して飲めるきれいな水。
- ・自然（きれいな海、山、緑の公園）。

##### ② 文化財・伝統行事等

- ・各地区に残る伝統行事（祭り等）。伝統産業。重要文化財。
- ・お水送りの行事。つながりを伝えること大事。ちりとてちん女性落語大会。八百比丘尼伝説。
- ・放生祭が存続できる＝中心市街地の空洞化がない町を。
- ・食文化、明通寺、発心寺、仏国寺／鯖街道の歴史。小浜市から発信したことなど。
- ・伝統野菜を残してほしい。大切にしてほしい。
- ・小浜市と言ったら御食国を残してほしい。／神社、仏閣がある事、市民に伝わっていないので、その事実と歴史、また、それらがある事で先祖様に感謝する事へつながると思います。御食国おばまとして、収穫した供物を神社、仏閣へお供えする意義を食文化館で発信していけば、海産物、農産物、産業が残るのではと考えます。

##### ③ 産業

- ・美しい自然を残しながら地場産業、農林水産業が盛んな町。
- ・野菜工場、海からのエネルギー資源（水素）。
- ・谷田部ネギなどの伝統野菜が引き続き生産され更に新しい特産物が研究され農業が家庭の収入源となり、農家がゆうゆうと農業のできる町であってほしい。／農林水産業を活性化させる支援を行い、食料自給率をできる限り高める。
- ・伝統産業の担い手が受け継がれていくよう育成支援。
- ・自然と融和した農業と漁業を中心とした企業に若者が集まる町づくりを行う。例えば魚を陸上で育て生産する養殖事業を行うこと。／持続可能な農林水産業。

#### ④ 交流・活気等

- ・小浜湾をぐるりと囲んで、全体が農業、林業、水産業、観光他がテーマパークの様に楽しくそれぞれ活気がある中で生活している姿。
- ・都会のオアシスとして通勤、通学の利用する人がたくさん増えて、賑やかになってほしい。
- ・京とのつながり（鯖街道 針畑越え）。
- ・治安がよく安心して外出できる町であってほしい。
- ・若者が住み続けたいくなる魅力ある活気ある町。しかし小浜の文化や歴史は残してほしい。

#### ⑤ 人、地域愛・誇り

- ・一人ひとりがそれぞれに生きがいを持って自分らしく過ごせるような町になってほしい。／生き生きと働き生きる人々。
- ・地域の人々との温かい交友／人間性の良さ。
- ・郷土愛の強い市民／家族、笑顔。
- ・住民同志がもっとつながりをもってお互いに助け合う心あたたかい愛のある町にするための教育／隣り近所の人々の人情や助け合う市民。
- ・子どもの「やりたい学びたい」が、実施できるまち。
- ・未来の子どもが誇れる町。

#### ⑥ 食

- ・へしこやくずまんじゅうなど、これからもたくさんの人に食べてもらいたい。作り方などの講習会など、たくさん開いて、若い人たちに関心を持ってもらいたい。／小浜の美味しいもの。焼きさば。でっちようかん。えてかれい干したもの。カレー焼き（アカオさん閉店されて残念）。
- ・きれいな水、おいしいお米／小浜の美味しい海産物。

#### ⑦ 生活基盤（医療・福祉、教育、交通、インフラ等）

- ・利用しやすい交通インフラ（市内）。
- ・堀り抜きの井戸水が冷たくて美味しいままで 100 年後にもあってほしい。（新幹線工事で地下水が枯れると聞いたから）。
- ・高い教育水準／医療体制の整った病院。
- ・県外からの釣り客が落としていくゴミが増えているように思います。自然豊かな海、山の景観を残していくためにもゴミ対策をお願いしたいです。

## II. 望ましい将来像について

※前述の「小浜市の望ましい将来の方向性」項目とは異なる内容について記載

- ・人情のある誰もが住みやすい町。
- ・子、孫まで安心安全に豊かに暮らせる小浜市。

- ・今のような自然のある田舎。静かな素敵な所であってほしい。閉鎖的な所も残ってほしい。あまり外国人が来てと言うより今の小浜市らしさを残してほしい。
- ・明るさや幸せがもっともっと有るような町（特に駅通りをもっと明るくにぎやかに）
- ・100年後には日本海側の中心都市になるようにする。そのための基盤。例えば、ICTを活用したスマートシティの推進など。
- ・閉鎖的な良くない田舎の考え方が減り、様々な出身者、障がいを持った人が暮らしやすい多様性最先端の町。

### III. 結婚・出産について

- ・子育てでしやすい環境。金銭的に子どもを産まない、産んでも1人までの状態から、安心して産んで育てられる町。

### IV. 子育て環境や生活環境について

- ・若い人が古い慣習にしばられない自由な生活（都会の方が自由、他人をとやかく言わない）（行事が多すぎ地域に拘束され出たがる人が多いため）。
- ・子どもに優しい町。たくさんの公園。子どもが遊ぶ施設。／子どもたちが自由にのびのびと過ごしている環境。
- ・安心して暮らせる所（経済的、医療、警察）／雇用、福祉、医療等 安心して生活できる環境。
- ・教育が充実している（子育ての原点となる場所が「小浜」）。

### V. 就業機会（若者の働く場所）の創出について

- ・若者が暮らしたいと思う環境。雇用が確保され子育てしやすく娯楽など充実した小浜市であってほしい。特に様々な職業が選択でき、都会並みの賃金が確保され、やりがいとゆとりをもって生きていけると良い。
- ・原発が無くなって、その後の小浜市民のために、仕事先としての企業誘致を進めて、生活が立ち行くように、生活基盤を残してほしい。／原発に代わる働き場所、企業を設けないと住民は生活出来なくなる。何を残すかではなく、県外の大学へ進学した若者が帰って働ける環境を作るべきである。
- ・都会に出なくても働ける大企業の誘致（台湾企業、半導体とか）、小浜病院の改革。

### VI. U・Iターンの促進について

- ・リフォームなど補助金が出るとか、おむつ代無償、など若い人たちに何かしらのメリットがあれば良いのでは、お金も嬉しいが必要な物でも良いかと思います。

## 【自由意見】

- ・多様な意見が寄せられており、市政に対する期待や意見等も一定程度見受けられるが、結婚・出産や子育て環境・生活環境について、就業機会の創出やU・Iターンの促進に係る内容について、特徴的な回答を抜粋する。

### I. 結婚・出産について

- ・小浜病院で出産する人、小浜市の出生数の6~7割程度。小浜病院で出産することで祝い事があると良い。小浜病院は小浜市内の企業の一つと考え、若者の流出につながらないよう整備に力をいれていただきたい。
- ・不妊治療の助成の充実。
- ・不安なくたくさん産んで育てられる環境の整備を、どうぞよろしくお願いいたします。

### II. 子育て環境や生活環境について

- ・子育て支援は明石市に学び、若い女性を呼び込む事を考えなければならない。
- ・子育て支援としての遊び場は小中学生が体を動かし楽しめる屋内の広場があると思います。もちろん体育館とかではなく、親も祖父母もふれ合い過ごせる空間も併設された見通しのよい環境があると夏でも家族で楽しめると思います。／子どもから老人までが利用できる遊べる複合施設を希望します。中学、高校生が遊べる場所が無いように思います。
- ・公園が少ない。子どもが育てにくい。保育士の給料が安すぎる（公立、私立ともに）／小さい子どももたくさん遊べるような室内で遊べる施設も何個か作ってほしい。（なないろは少し、大きい子用な気がしました・・・）
- ・学童の延長時間を18：30ではなく保育園と同じ19：00までにしてほしい。小学校の壁につまづいている。フルタイムで働けない。
- ・もう少し手厚いサービスがあっても良いと思います。
- ・専門の病院（耳鼻科や皮膚科、産婦人科等）がもう少し増えてほしい。／小浜病院の小児科医がもっとしっかりとした医者になってほしいです。
- ・幼児や低学年からスポーツを習える環境をもっと整備してほしい。またその情報を得やすくしてほしい。
- ・食のまちづくりをしているなら、給食の予算確保をしっかりとってください。教育費の確保、教員人員確保をしてください。未来を作る子どもを育てる環境が整っていない。
- ・不妊治療の助成、子どもの医療費無償、保育園無償化など、ここ数年でもどんどん育児の補助は手厚くなってきていると感じています。
- ・医療に関してですが、フルタイムで仕事をしている者も仕事終わりに行けるような皮膚科、眼科があるといいなと思います。難しいことなのだと思いますが、病院を選択できる環境というのも大切だと思います。
- ・教育への予算を充実してあげてください。小浜市の教育が先生方のウェルビーイングに寄り添えるように願っています。多様な教師が、個性を發揮していきいきと教育できるための教育行政を期待します。

### III. 就業機会（若者の働く場所）の創出について

- ・小浜が拠点となる（工業、水産業、農業）企業ができるとうい。
- ・大学を卒業した子どもたちが自分の希望により地元で就職できるような豊富な魅力ある就職先、企業の誘致に力をいれていただきたい。／若者が働きたいと思える場を整えてほしい（短大、大学卒業後）。
- ・子持ちのママが仕事しやすい場所や職場が増えてほしいです。
- ・小浜の漁業を前に出してもっと中心的に売り出してほしい。農業にも力を入れてほしい。／高校大学と地元で水産関連の人材を輩出できる点やリアス式海岸やキレイな水がある地の利がある点を活かして、先進的な養殖を行う大企業の立地を推進してほしい。日本一の養殖のまちとなれば食文化の発信や観光にもつながると思う。
- ・障がい児、医療ケア児の親の、仕事と育児の両立を支援していただきたく、短時間勤務制度の年齢制限の撤廃を求めます。

### IV. U・Iターンの促進について

- ・他県や他市町から転入してくる人が土地に早くなじめるように、知りたい事に対していねいに情報提供ができるとういと思います。
- ・若者が遊べる場を作ってほしい。小浜で遊んだり「〇〇したい」と思えるようなもの、場所が無い。(ex おしゃれなカフェ、人魚の浜をきれいにする、商店街活性化)。
- ・帰ってきたいと思う人が少ない理由として、働く場がない、給料が安い、遊ぶ場所がないなど色々挙げられるが、奨学金返還補助制度や UI ターン移住支援金をもっと PR したほうがいい。
- ・若い年齢層からの意見を取り入れ、移住者の意見の取り入れも行う気持ちのよい小浜市にしてほしい。

### V. その他

- ・若い人が誇れる町、小浜の創造。
- ・小浜ならではの土産（日持ちのする菓子等）、小浜のブランド品を考えてほしい（浜松のうなぎパイのようなもの）。
- ・遊べる場所が少なく小浜市外に行くため市が活性化しない。小浜といえど自信をもって言えるものを増やしてほしい。若い世代の意見を取り入れたまちづくりをがんばってほしい。小中高生などの探求活動の支援。

## 市長との対話集会（12 地区）

12 地区の対話集会（令和 6 年 9 月～11 月）で出された意見について、結婚・出産や子育て環境・生活環境について、就業機会の創出や U・I ターンの促進に係る内容ごとに主なものを整理する。

### I. 結婚・出産について

- ・ 40 歳以上をターゲットにした婚活パーティーが重要になる。
- ・ 出会いの場を作るといことで、結婚窓口を作っていただく。／外に出ないと出会いも少ないので、外に出てもらうツール（歩けば歩くほどポイントたまる仕掛け等）があると良いのではないか。

### II. 子育て環境や生活環境について

- ・ 子どもの遊べる場所がないので、特に室内の安全な場所を作っていただきたい。
- ・ 保育園や小学校の子どもが、放課後のふれあいとなる行き場が少ない。
- ・ 万人が集える場所、公園も必要。
- ・ 保育園の給食費や空き家提供など、子育て世代の住みやすいまちにしていけると良い。
- ・ 普段からごみのないまち／子どもが遊べる場所や楽しめる場所／文化・エンタメ施設など親子でお金を落としてもらえる場所が必要。
- ・ 医療関係の充実が必要
- ・ 自然がすごくきれいで、自然に近い環境で子どもを遊ばせる場所に向いている

### III. 就業機会（若者の働く場所）の創出について

- ・ 若い人の働く場所が少ない。小浜としては農業というのを基本に据えてやっていくのがいいのではないか。
- ・ 工業団地の設置を。雇用が多い企業が一つくるよりも、雇用が少なくても数で勝負した方がいいのではないか。
- ・ 「海場の農楽舎」ができないか。
- ・ 僕らは産業というとすぐ会社と思うんですけど、林業を活用してはどうか。

### IV. U・I ターンの促進について

- ・ それだけじゃなく、移住していただく、あるいは 2 拠点居住を推進していただければいいかなと。そのためにはやはり安全・安心なまちづくりをお願いしたい。
- ・ 移住してきた人には畑をプレゼントするのはどうか。
- ・ 公共交通や、巡回バスとかデマンドタクシーとか、そういうものを合わせて移住者を増やして、釣りができる、ゆっくりできるという部分で、活気が出ると良い。
- ・ 山ガール、海ガール、寺社ガールなど、そういった事に興味のある女性を増やす。

### V. その他

- ・ 防災や河川改修／交通インフラが必要。

- ・ブランド米の PR や活用・展開。
- ・漫画の聖地づくり。
- ・市民と行政のコミュニケーションが必要。
- ・新鮮な魚を強みとして、小浜独自の目玉をつくるのが大事。
- ・市主催の大きなイベントを特定の地区だけでなく 12 地区を順番に回るような仕組み。
- ・地域の相談役になるような市の専門的人材の育成。
- ・鯉川シーサイドパークの活用について、グランドゴルフの設置やキャンプ場の設置、アウトドアのイベントなどを募集してはどうか。

【(参考) 地域ごとのキーワード】

各地区での意見より、地区の特徴を捉えるのに参考となるキーワードを抽出する。

地区	キーワード
今富	防災／河川改修／南川／農業／ブランド米／岳嵐／安全・安心／2 拠点居住の促進／子どもの遊べる場所／屋内の安全な場所／若者が働く場所／漫画の聖地づくり／エンゼルラインの再利用／道路整備／公園
内外海	交通インフラ／地域住民の足／公園・遊具整備／空き家対策／漁業後継者／海の資源対策／海場の農楽舎／久須夜ヶ岳／キャンプ場／企業の本社誘致／付加価値／交通／防災／価値を生む／地理的な利点を生かす／小学校の利活用／阿野尻小学校／空き家／人材を育てる／人づくり／教育／エンゼルラインの有効利用／高齢者と若者の交流機会／移住／学生に遊びに来てもらう／公共交通の利用促進／県立大学とのタイアップ／里山里海のエコイズム／林道の有効活用／小浜独自のアンテナショップ
松永	市の公式 Youtube 開設／語り部／外国人による魅力発信／飲食業／YOSAKOI／イベントの活性化／小公園の整備／スケボーやストリートバスケットができる場所／地域の交流／一点突破／明通寺の活用／健康づくり／ゴミ置き場／防犯カメラ／看板になる有名料理／各コミセンに自動翻訳機設置
雲浜	防災／ハード整備（インフラ）／ふれあいサロンの会／高齢者／高齢者活動／発表する場の開放／災害避難／デマンド交通／市バス／文化会館のバリアフリー化／イベント／エンゼルライン／夕日のフォトコンテスト／自然を使った形でまちを PR／鯖街道ミュージアム／広報のあり方／まちの活性化、旭座の活用／空き家活用／高齢者向けやシングル向けのシェアハウス
国富	コウノトリ／水害をなくす／PR・コミュニケーション／国富米のブランド化／コウノトリ博物館／国富小跡地の活用／自動運転の周回バス／夜間景観／明かり／ライトアップ／御食国ソフトバレー大会／
西津	鯖をもっとアピール／ちりとてちん／祭による活性化／シルバーカフェの活用／西津が小浜を先導していく／山川登美子記念館／西津の海岸／海岸から見える夕日／街灯／お地藏さんぽ／空き家活用／小浜風景 100 選／

地区	キーワード
中名田	地域間の交通の便／寺・神社／文化財／食文化／祭／ホスピタリティ／おもてなし／感度持って発信／市のポータルサイト／田村のめぐみ／米粉クッキー／南川／アユ釣り大会／盆踊り／空き家活用／情報発信／動画作成する課／たけのこの谷／ジビエによる村おこし／高齢者の移動／田村米／伝統の引き継ぎ／和多田の和紙／茅の生産／養蚕／鹿や松茸／炭焼き／人間と野生のところの境界／植林／若狭和紙／エンゼルライン
加斗	海の魅力／きれいな景色／釣り客／海ごみ、プラごみ／小学校教育／ゴミステーション／ゴミ回収・処理の仕組み／国天然記念物／鯉川シーサイドパークの活用／JA 跡地／空き家活用／耕作地・荒地／花いっぱい運動／古民家カフェ／食改さん／キャンピングカー／洋上風力発電／風力発電
遠敷	小学校跡地活用／文化財を発信する拠点・センター／多目的複合施設／防災拠点／観光 PR センター／土産物店／レストラン／子育て(支援)／古民家リノベーション／神ってる／歴史的文化遺産を活かした観光／おみやげ／姫神社・彦神社／パワースポット／縁結び／鯖街道／上根来／雲海／象の通った道／丹後街道／お水送り／ロゴマーク
宮川	マリンスポーツ／キャンプ場／活性化／消防団／コミュニティバス／古民家再生／花の里宮川／公共交通機関／バス交通の充実／交流人口／風光明媚／エンゼルライン／蘇洞門／トイレ整備／食でアピール／12 地区のいいもの物産展／小浜音頭／区長業務効率化・負担軽減／若者の集いの場／シニア難民
小浜	まちの駅活性化／落語大会／まち並み／高齢者にやさしいまち／高齢者呼び込む工夫／県立大学との連携／雪かき／放生祭の保存／小浜公園の活用／文化施設／電柱地中化／景観の保持／社会福祉／小浜の花火／「幸齢者」PR／マーメイド／長寿／老若男女／元旦マラソン／海山川／〇〇体験／はまかぜ通り／エンゼルライン整備／朝市／ビアガーデン／テーマ・ストーリーを作る／八百比丘尼／海彦山彦／伝説的なネタ／海から駅にかけての動線づくり／文化会館／国宝巡り／ライドシェア／レトロバス／お金が落ちない／ここに行けばみんながいるみたいな場所／リゾートライン／堅海キャンパス／小浜公園から海岸線／意識改革／若者が楽しい場所
口名田	運動公園／村歩き／奥田縄の滝／須縄の滝／河川敷利活用／専門家のコンサルタント／地域のブランド／谷田部ねぎ／新田ごぼう／ちびっこ広場／(屋内の) 球技場がない／人が基本／デマンドバス／バスターミナル／不法投棄／県道整備／若者がチャレンジできるお店や環境／ライドシェア／スマート AI／インフラ整備

## 市長との対話集会（テーマ別）

小浜市第6次総合計画をテーマに開催した対話集会（令和7年11月）で出された意見について、「小浜市のまちづくりについての重要度」と「自慢できる小浜市の特色とそれを活かした将来の方向性」に係る内容ごとに主なものを整理する。

### 1. 小浜市のまちづくりについての重要度

- ・安心して住み続けられるまちづくりを進めてほしい。医療機関の充実や、介護人材、農水産業人材の確保が重要。
- ・外国人の方も働きやすく、住みやすいまちづくりをしてほしい。
- ・地域組織の減少などが懸念されるので、地域力を高める取り組みを推進するべきだ。
- ・コミュニティにおける近隣の人とのふれあいや助け合いが重要。子どもが育つ環境として大事であり、将来地元に戻ってこようという人材育成、まちづくりをしてほしい。
- ・人口減少と少子高齢化が進む中で、若者や女性に選んでもらえるまちづくりが重要。Uターンを考える際に、その地域の医療や教育を重視する人は多い。
- ・移住定住の相談窓口がわかりにくいと聞く。ポータルサイトを充実させてほしい。
- ・地域コミュニティの面では、地域や家族のいごこちの良さが大事ではないか。
- ・人口減少対策が重要。一貫性のある観光対策に取り組むことで観光客を増やすこと、特にインバウンド対策が大事ではないか。
- ・「御食国若狭と鯖街道」は全国で唯一の日本遺産プレミアムであり、そのような歴史資源を活かした観光誘客を進めてほしい。
- ・様々なまちづくりにおいて最も重要なものは情報発信と考える。インフルエンサーの活用等プロの力も必要だが、市民が日常に興味を持って自ら発信することも重要だ。
- ・小浜市のまちづくりの大黒柱として「御食国」がある。経済や観光等への広がりも期待できる。そのためには、情報発信が重要だ。
- ・外国人の方が増えているが、その人たちから見た小浜の魅力の発信も重要だと考える。
- ・職業の選択肢が地元にあるとよいので、企業誘致を進めていただきたい。市民が働ける大きな企業を誘致してほしい。平野の県営産業団地に期待をしている。地方にテーマパークやアウトレットができる事例もある。
- ・若者や子どもたちに小浜の働く場所を紹介する機会を設けて、企業にアピールしてもらってはどうか。
- ・これからの地域を担う子どもたちが中心になって、住みたくなる魅力あるまちづくりを進めてほしい。小中高生や20代の働く若者、子育て世代の声を聞く場があるとよい。
- ・公共交通の充実が重要。都会と小浜をつなぐ公共交通が整備されるとよい。他方、公共交通機関を市内に張り巡らせるのは難しいので、自転車を活用してはどうか。
- ・災害に強い安全・安心なまちづくりが重要と考える。自主防災組織の強化や専門家も交えての防災マップづくりなど、市として力を入れている部分を今後も継続いただきたい。

## II. 自慢できる小浜市の特色とそれを活かした将来の方向性

- ・豊かな自然で育った新鮮な野菜や米をアピールすることが大事。食材を道の駅で販売できないか。小浜に来ないと食べられない食を提供する食事処も増えてほしい。
- ・食べ物が美味しい。グルメブックのような小冊子を作り、市外だけでなく、地元の人が情報を知る環境を作ってほしい。
- ・夕日がきれい。景色を活かした観光産業を進めてはどうか。リゾート開発する際には、小浜の生態系や自然の豊かさが壊されないように注意してほしい。
- ・SNS等を活用した情報発信をして、国内やインバウンドの集客につなげてほしい。
- ・人魚の浜に写真スポットを作るとPRにつながるのではないかな。
- ・ある調査では小浜の10代から20代の地域愛は高いという結果が出た。地域に根差したふるさと学習の効果だと考えられるので、今後も継続していただきたい。
- ・小浜には特色ある小さい商店が残っている。魅力的な店があると、そこを目的に市外から訪れる人も多くなる。
- ・市民が小浜の良いところを「日本一」だと胸をはってアピールする姿勢が必要だ。
- ・御食国の歴史・文化が小浜市の自慢できるところ。豊かな食文化や、歴史ある寺社、祭礼などすばらしいものがある。
- ・観光の取り組みとして、市外へのアピールだけでなく、市民が小浜の歴史や文化を学ぶ機会も大切だ。
- ・蘇洞門の山登りや多田が岳の修験道、鯉川海水浴場など、豊かな自然を活かした体験メニューをもっと充実できないか。
- ・教育旅行を誘致することで、子どもたちが小浜について学ぶ機会を設けてほしい。
- ・小浜駅を降りてすぐのはまかぜ通り商店街は閉まっている店が多い。シャッターロードの活性化を図り、観光まち歩きにつなげてはどうか。
- ・観光面で、高速道路の小浜IC周辺が淋しいと感じる。道の駅の建物の中は充実しているが、そこへ引き込む魅力がないと感じる。目立つモニュメントを作って誘導してはどうか。
- ・小浜は人が良いところも魅力なので、インバウンドや在住外国人等を受け入れる多様性を醸成してほしい。
- ・市民や会社、商店などが協力して、毎日17時に一斉清掃活動をしてはどうか。きれいなまちづくりを進めることで、観光客やインバウンドで訪れた人へのおもてなしにつながる。
- ・自然が豊かな反面、シカやサル、クマなどの鳥獣害対策は必要だ。
- ・福井県立大学に先端増養殖科学科ができた。今後の人材育成に期待している。
- ・伝統産業もすばらしいものがあるので、事業継承や市外へのPRで活性化してほしい。
- ・市内には空き家がたくさんあるが、資源として利活用する視点も重要。リノベーションして企業が活用してくれるとよい。
- ・小浜市民は各地区のことをお互いに知らない。広報紙に12地区の取り組みや文化、魅力ある食などを毎月順番に紹介してほしい。

## 第6次小浜市総合計画におけるSDGsの取組み

総合計画			SDGs					
章	節	項	1 貧困をなくそう	2 気候をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に
序章 新時代を迎えるまちに向けて	1 新時代に向けたまちづくり	1 新時代に向けたまちづくり						
	2 持続可能なまちづくり	1 持続可能な開発目標(SDGs)の推進						
		2 関係人口増加、移住・定住の促進				●	●	
		3 循環型社会の構築						
		4 行財政改革の推進						
	3 さらなる地域力の向上	1 市民主役のまちづくり						
		2 協働・コミュニティ活動の活性化				●		
		3 ダイバーシティ社会の実現	●		●	●	●	
	第1章 新たな時代を担う人を育む まちの実現	1 生涯食育の推進	1 生涯食育	●	●	●	●	●
2 子育て環境の充実		1 子育て支援	●	●	●	●	●	
3 学校教育の充実		1 幼児教育	●		●	●	●	
		2 学校教育	●		●	●	●	
4 社会教育の充実		1 社会教育	●		●	●	●	
		2 人権教育	●		●	●	●	
		3 スポーツ			●			
第2章 みんなが安全・安心に暮らせるまちの実現	1 安心して暮らせるまちづくり	1 防災					●	
		2 交通安全			●	●	●	
		3 防犯			●	●	●	
		4 消費生活			●	●	●	
	2 健康づくりの推進	1 保健		●	●		●	
		2 医療			●			
	3 地域共生社会の実現	1 地域福祉	●		●	●		
		2 高齢者福祉			●			
		3 障がい者福祉	●		●	●		
		4 子どもを守る仕組みづくり	●		●	●		
5 社会保障		●	●	●		●		

SDGs										
7 エネルギーをクリーンに していく	8 働きがい 経済成長	9 産業と技術革新の 基盤をつくろう	10 人や国の不平等 をなくそう	11 住み続けられる まちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に 具体的な対策を	14 海の豊かさを 守ろう	15 陸の豊かさも 守ろう	16 平和と公正を すべての人に	17 パートナーシップで 目標を達成しよう
		●		●						●
				●						●
			●	●						●
●				●	●	●				●
				●						●
			●	●						●
			●	●						●
	●		●	●						●
			●	●						●
			●	●						●
			●	●						●
			●	●						●
	●		●	●						●
										●
				●		●				●
				●						●
				●						●
				●	●					●
				●						●
			●							●
	●		●							●
			●							●
	●		●							●

総合計画			SDGs					
章	節	項						
第3章 活かした観光のまちの実現	1 観光・交流活動	1 観光						
		2 交流活動					●	
	2 文化財の活用・保存	1 市民文化				●		
		2 文化財の活用・保存				●		
	3 環境保全の推進	1 環境保全				●		●
第4章 活力ある産業をみんなで育てる	1 商工業の振興	1 商業						
		2 工業・企業誘致						
		3 起業支援						
		4 伝統工芸						
		5 労働・雇用	●		●		●	
	2 農林水産業の振興	1 地域経済の好循環		●		●		●
		2 農業		●				●
		3 林業						
		4 水産業		●				
第5章 新たな時代に向けた住み心地の良いまちの実現	1 新高速交通時代に向けて	1 北陸新幹線全線開業						
		2 公共交通・道路交通網						
	2 住み心地の良いまちの形成	1 秩序あるまちの形成						●
		2 環境衛生・生活環境			●			●
		3 橋梁						
		4 上水道			●			●
		5 下水道			●			●
		6 河川						●
		7 住宅	●					
		8 スマートシティの実現						

SDGs										
7 エネルギーをクリーンに していく	8 働きがい 経済成長	9 産業と技術革新の 基盤をつくろう	10 人や国の不平等 をなくそう	11 住み続けられる まちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に 具体的な対策を	14 海の豊かさを 守ろう	15 陸の豊かさも 守ろう	16 平和と公正を すべての人に	17 パートナーシップで 目標を達成しよう
	●	●								●
			●						●	●
				●						●
	●	●								●
●				●	●	●	●	●		●
	●	●								●
	●	●								●
	●	●								●
	●	●	●							●
	●	●		●						●
●	●	●		●		●	●	●		●
	●	●		●			●	●		●
		●		●		●				●
				●			●	●		●
●				●	●	●				●
		●		●						●
		●		●		●				●
		●		●		●	●			●
				●			●	●		●
		●		●						●
				●						●
		●		●						●